

モニタリングチェックシート（令和3年度）

<評価>

施設名	美術館
指定管理者名	公益財団法人 練馬区文化振興協会
評価者	文化・生涯学習課長

優：特筆すべき実績・成果が認められるもの
 良：管理運営が良好と認められるもの
 要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 組織体制 <ul style="list-style-type: none"> 練馬区情報セキュリティポリシー、個人情報保護条例および情報公開条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 労働基準法、労働安全衛生法、育児・介護休業法等、労働環境に関する法令等を遵守しているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 管理業務費の経理、収納した利用料金の取扱い、実費負担金等について、適正な処理および管理を行っているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護に関する規程等、区の条例に準拠した規程を設け、必要な措置を講じている。 労働環境に関する法令を遵守している。 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた施設管理を行っている。 経理等は、規程に基づき適切な処理および管理を行っている。
2 施設運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取組を進めているか 計画的に職員研修を行うなど、職員の育成に努めているか 利用者等への公平公正な対応・人権の配慮がなされているか 苦情処理の規程と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 施設の利用状況は良好か 利用者アンケート等の評価は良好か 美術館運営協議会の評価は良好か 新型コロナウイルス感染症へ適切に対応しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 展示会での子ども向け解説の作成や貸し出し用杖の用意、筆談対応用にメモ帳を係員が携行する等、利用者サービスが向上した。 利用者アンケートによる事業内容の満足度は93.8%と良好である。また、運営協議会では、展示会の企画内容について高い評価を得た。 区の方針に基づく、利用制限の変更に応じた利用者への対応、消毒等コロナに係る基本的対策の徹底に加え、SNSで混雑状況を発信し混雑緩和を図る等、利用者が安心して利用できるよう感染防止策を講じた。 4～5月の休館時には、予約団体への丁寧な対応に加え、開催予定の展示会情報をSNSで発信する等、利用者への影響が最小限となるよう工夫した。また、職員の雇用や賃金収入の維持等適切に対応した。
3 施設の維持管理・安全性への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 設備の保守点検、備品の管理は適切に行われているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 管理上の不具合や問題の区への報告が適切に行われているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 計画的に保守点検を行い、備品も台帳により適切に管理している。 施設に不具合が生じた際には区に報告の上、適切に対応している。 「動産保険」等、事業内容に応じて適切な損害保険に加入し、不測の事態に対応している。
4 効率的な管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 効率的な人員配置がされているか 業務の再委託における範囲は適切か 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 収支計画が提案どおり達成されたか その他効率的・効果的な施設運営に係る取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> コロナによる事業、収支計画の影響が最小限となるよう、講演会を動画配信に変更する等工夫している。 コロナによる休館があったが、観覧料等収入は40,191千円（2年度17,317千円・元年度38,197千円）と、当初見込みの約4割の収入増となった。収益を活用し、予防的な設備修繕を行う等、効率的に施設運営に取組んでいる。
5 施設特性に応じた管理運営 <ul style="list-style-type: none"> 展示会の工夫により、集客に努めているか 事業者の提案に基づく取組が適切に行われているか 石神井公園ふるさと文化館、練馬文化センター、大泉学園ホールとの施設間連携による魅力向上の取組を進めているか 	優	<ul style="list-style-type: none"> 動画配信やSNSの活用等、事業者の工夫により「馬場のぼる展」は歴代4位となる約3万人の観覧者数を記録した。コロナによる休館や例年2万人以上が来場する区立小中学校関連の展示会の中止となったが、入館者数は79,795人（2年度41,958人・元年度104,016人）と前年度と比較して約2倍となった。 石神井公園ふるさと文化館との相互割引のほか、企画展とテーマをあわせて文化センターでコンサートを実施するなど、施設間連携に取り組み、館の魅力を高めた。
6 地域への貢献 <ul style="list-style-type: none"> 区内雇用および障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 再委託する際に、区内事業者の活用に努めているか 物品を調達する際に、区内業者からの調達に努めているか 地域、関係機関、ボランティア等との協働または連携した取組が行われているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 区内雇用率は18.2%である。修繕や消耗品については、積極的に区内業者から調達している。 商店会店舗での企画展のポスター掲示、商店街クーポンの館内配布、貫井図書館での展示会関連書籍の展示、ねりま若者サポートステーションと連携したワークショップの開催等、地元商店会や関係機関との連携に取り組んでいる。
総合評価	(講評) 良	・項目全般について区が求める水準を満たしている。区の方針に基づく感染症対策の徹底に加え、SNSにより施設の混雑状況を発信する等、工夫している。また、動画やSNSによる展示会紹介を行い、入館者数を前年から約2倍に増加する等、成果を上げている。外郭団体として区の方針を理解し、公益財団法人として公益性・柔軟性を発揮し、文化芸術施設の一体的管理運営を適切に行っている。